

単元名 4 状況の中で 一言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 慣用句・ことわざ・故事成語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
 (3) 積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりする。

標準的な展開例

12210205_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 慣用句やことわざ、故事成語の特徴や意味を理解し、使い方に慣れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身の回りで使われている、ことわざや慣用句を振り返り本時の学習課題をつかむ。 ★慣用句・ことわざ・故事成語について知り、使えるようにしよう。 ○全文を読み、慣用句やことわざ、故事成語の特徴についてまとめる。 ○教科書にある慣用句やことわざ、故事成語の意味を調べそれらを使った短文を作る。 ○「生活に生かす」(p.118)に挙げられている誤用の例を生活を振り返って探してみる。 <p>○本時のまとめを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が知っていることわざや慣用句などを自由に出させ、興味をもたせる。 <p>【評】意味調べや短文作りの活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットなどを使って、誤用例を検索させるのもよい。 ・誤った使い方の例を提示し、問題形式で考えさせるのもよい。 <p>【評】生活を振り返って、誤用例を探す活動を通して、「主体的に活動に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤用に注意させるとともに、昔から使われていること、気持ちや情景、知恵や教訓を表しやすい言葉であることを理解させ、今後の生活の中で使っていけるように促したい。

【 備 考 】

中学校の最終学年にふさわしく、厳しい状況下に置かれた人間の姿を読み取り、読み深めていきたい。表現の工夫に注意して読んでいく中で、人物や作者の心情だけでなく、彼らがそのように感じ、考えた時代背景にも目を向けさせたい。そうした人間と社会との普遍的な関わりについて考えを深め、自分なりの意見をもたせたい。

また、「故郷」は、道徳のD- (22) 「よりよく生きる喜び」に当たる。